

輝け！シン尾花沢中

第79号

令和7年

8月26日

まちのさかえは 国の富 はたらくものの よろこびを

2学期を迎えるにあたって③ 3年代表 大山優翔さん

20日（水）始業式での、3年 大山優翔さんの発表を紹介します。

2学期は、学校行事や勉強、進路など、やるべきことが多くなる学期です。だからこそ僕は、「3年生として後悔のない2学期」を過ごそうと思います。特に力を入れようと思っているのは『合唱コンクール』、『勉強』、そして『進路』の3つです。

まず、『合唱コンクール』です。これは、3年生として最後の大きな行事になります。今年の合唱では、3組全員で気持ちを一つにして、やり切ったと思えるような時間にしようと思います。毎日の練習を大切にし、最後には笑顔で歌い終えられるようにしたいです。最優秀賞を目指して取り組み、クラスの思い出に残る最高の合唱をつくります!!

次に、『勉強』です。今年は中間テストがなくなり、これまでより自分で学ぶ時間の使い方が大切になります。クラブを引退した今、気持ちを切りかえて、家庭学習にも集中して取り組みもうと思います。予習・復習を習慣にし、授業にも積極的に参加します。受験生として、毎日の小さな努力を積み重ねていきます!!

そして、『進路』についてです。夏には高校の説明会や学校訪問があり、将来の進路について考える時間が増えました。自分に合った進路を選ぶためにも、日々の勉強を大切にして、選択肢を広げていこうと思います。最終的には、「この道を選んでよかった」と思えるような進路を、自分の力で決めます!!

2学期は、1学期以上に挑戦の機会が増えます。『合唱』、『勉強』、『進路』、それぞれに向き合いながら、自分なりの全力で取り組んでいこうと思います。そして、「あのとき頑張ってたよかった」と思えるような2学期にしたい、と思います。

優翔さんの、3年生としての覚悟が伝わってくる内容です。

私は、「夢や志を基盤として、夢中になって学ぶ尾中生」を2学期の重点とし、「普段を磨く！」を合言葉に掲げました。夢や志の実現に向け「頑張る」経験をたくさん作ってほしいのです。

尾花沢市内の中学生ではありませんが「頑張らなくても高校進学できるから、授業中は寝ているんだ」と平気で周囲に話している子供がいる、という残念な話を聞きました。

「頑張る」方法を知らない人間が、どうして自分の人生を幸せなものにできるでしょう？

いつ「頑張る」のか？今でしょ！

中学校生活の中で「頑張る」経験を積み重ねていきましょう。これから生きていくうえで大きな力となるはずです。

【文責：校長 工藤雅史】

